

# BPS 疼痛評価 記録シート

安静→刺激→介入後で、疼痛・呼吸・鎮静の変化を同じ条件で記録するためのシート

患者ID：	評価日：	評価者：
場所/病棟：	挿管/人工呼吸：	鎮静目標：
<b>1. BPS は 3 点で記録（安静→刺激→介入後）</b>		

時点	BPS	刺激・介入	併記する所見	判断
安静時	__ 点	介入前	RASS __ / SpO2 __ / 同調 __	基準値
刺激中	__ 点	体位変換・吸引・ROM・端座位	表情 / 上肢 / 努力呼吸	負荷調整
介入後5分	__ 点	休息・体位調整・鎮痛後	落ち着き / 同調 / バイタル	継続・中断
<b>2. リハ中断の目安：BPS と呼吸・循環をセットで見る</b>				

見る項目	中断を考えるサイン	まず行う調整	記録のコツ
BPS	刺激で上昇し、介入後も戻らない	刺激量を下げる / 休息 / 鎮痛相談	何の刺激で上がったか
呼吸	努力呼吸・同調不良・SpO2低下	体位調整 / 呼吸介助 / 負荷軽減	同調と努力呼吸の変化
循環	頻脈・血圧変動・冷汗など	休息 / 段階を戻す / 医師へ共有	前後の変化量
再開条件	BPS低下＋呼吸同調改善＋安定	低負荷から再開	再開条件を明記
<b>3. 誤判定を避ける：BPS を「不穏スコア」にしない</b>			

見えている反応	混ざりやすい要因	追加で確認すること
顔をしかめる	疼痛・不安・恐怖	刺激との時間関係
上肢を動かさず	疼痛・不穏・チューブ違和感	ライン接触・RASS・指示理解
人工呼吸器と合わない	呼吸苦・疼痛・鎮静不足	SpO2・呼吸数・努力呼吸・同調
<b>4. 記録メモ（点数＋条件＋次アクション）</b>		

BPS：安静 \_\_ 点 → 刺激中 \_\_ 点 → 介入後 \_\_ 点

---

刺激・介入：

---

併記所見：RASS \_\_ / SpO2 \_\_ / 同調 \_\_ / 努力呼吸 \_\_

---

判断：継続・中断・再開条件

---